

An aerial photograph of a coastal area. In the foreground, a long pier or breakwater extends from the land into the sea. Along the pier, there are several buildings with red roofs, parking lots, and green spaces. The water is a deep blue-green color. The sky is overcast with grey clouds.

# 那覇港湾施設代替施設建設事業 に係る環境影響評価方法書のあらまし

沖縄防衛局

## はじめに

環境影響評価（環境アセスメント）は、土地の形状の変更、工作物の新設等の事業を行う事業者が事業の実施に当たり、環境に及ぼす影響について、事前に調査、予測及び評価を行うとともに、その事業に係る環境の保全のための措置を検討し、この措置が講じられた場合における環境影響を評価するものです。

那覇港湾施設代替施設建設事業は、那覇港浦添ふ頭地区の沖合の公有水面の埋立てを行うものであり、環境影響評価法第2条第2項に基づく対象事業（第一種事業）に該当します。

このたび、事業者である沖縄防衛局は、環境影響評価法の規定に基づき、「那覇港湾施設代替施設建設事業に係る環境影響評価方法書」（以下「方法書」といいます。）をとりまとめました。方法書とは、これから実施しようとする環境影響評価において、どのような項目について、どのような方法で調査・予測・評価を実施するのか計画を示したものです。

本資料は、皆様に那覇港湾施設代替施設建設事業及び本環境影響評価に対する概要をお知らせするために、「方法書」の概要をとりまとめたものです。

令和7年8月  
沖縄防衛局

## 目次

1. 事業の概要……………1
2. 対象事業実施区域及びその周囲の概況…5
3. 環境影響評価の手続……………6
4. 環境影響評価の項目……………7
5. 調査、予測及び評価の手法……………8
6. 意見書の提出方法……………15

本書に掲載した地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000及び電子地形図20万を複製したものである。  
※本書に掲載した地図について、さらに複製する場合は、国土地理院の長の承認を得なければならない。



## 1.事業の概要

### 事業の目的

那覇港湾施設は、那覇空港の近く、那覇港内に位置し、現在まで米陸軍の港湾施設として提供されており、その地理的位置から跡地利用のポテンシャルが高く、その返還は沖縄県全体の発展に資することが期待されています。同施設については、昭和49年（1974年）1月には、移設条件付きでの全部返還が日米両国政府間で了承され、平成7年（1995年）5月には、同じ那覇港内の浦添ふ頭地区への移設が日米両国政府間で合意されました。その後、平成25年（2013年）4月の「沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画」において、返還の具体的な条件が確認され、その返還条件である浦添ふ頭地区における代替施設への移設に向けた取組を進めているところです。

那覇港湾施設の移設に関する問題については、政府、沖縄県、那覇市及び浦添市等で構成する「那覇港湾施設移設に関する協議会」（以下「移設協議会」といいます。）において議論を行ってきました。例えば、令和4年（2022年）10月の第29回移設協議会においては、防衛省が示した那覇港湾施設代替施設の位置及び形状案に基づいて、日米合意に向けた米側との調整作業を進めることが確認され、令和5年（2023年）4月に、代替施設の位置及び形状、代替施設内の施設配置計画について、日米両国政府間で合意されました。

本事業は、かかる経緯の下、浦添ふ頭地区の沖合の埋立てにより那覇港湾施設代替施設を整備し、那覇港湾施設の移設・返還を進めることを目的とするものです。



## 1.事業の概要

### 対象事業の内容

#### 対象事業の種類

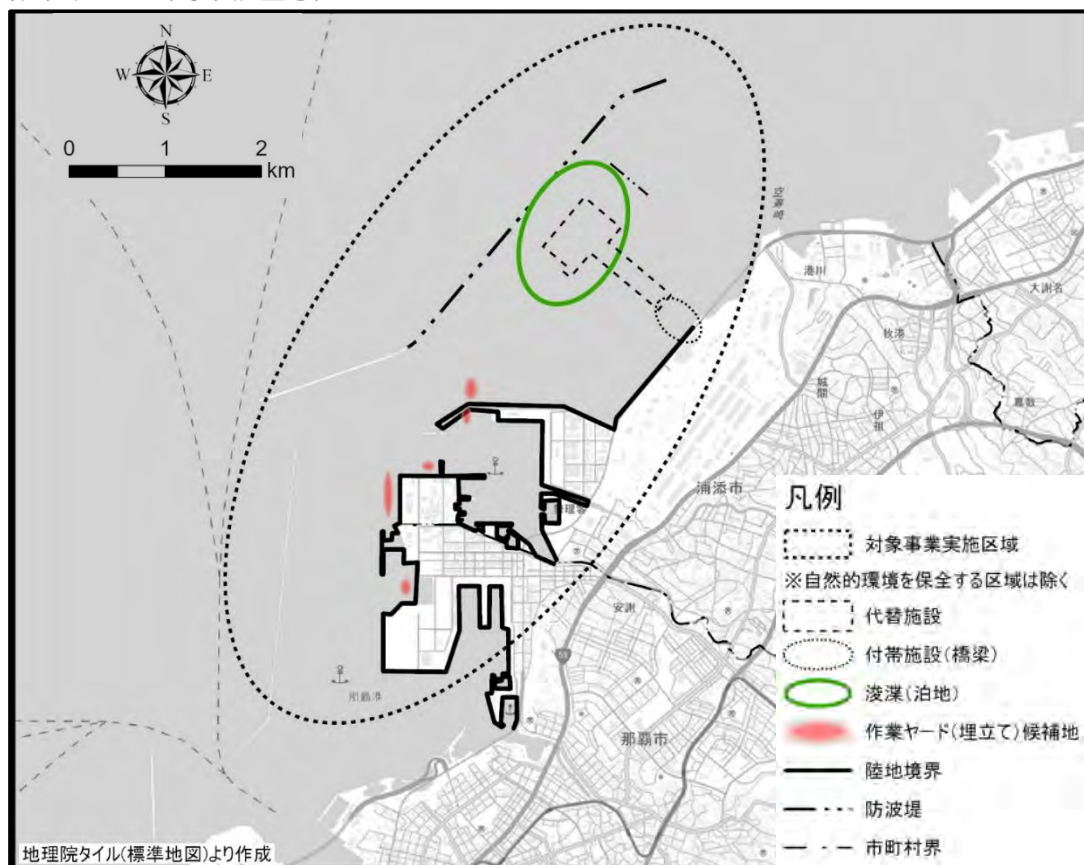
公有水面の埋立て

#### 対象事業実施区域の位置

沖縄県浦添市宮城地先公有水面（下図参照）

#### 対象事業の規模等

- 公有水面の埋立て 約 64ha：代替施設 約 49ha、作業ヤード（埋立て） 約 15ha<sup>※1</sup>
- 付帯施設（橋梁）
- 浚渫（泊地）
- 浦添第 1 防波堤（既設及び既に事業化されている防波堤部分を除く） 約 3,900m
- 浦添第 2 防波堤 約 500m
- 作業ヤード（海中仮置き）<sup>※2</sup>



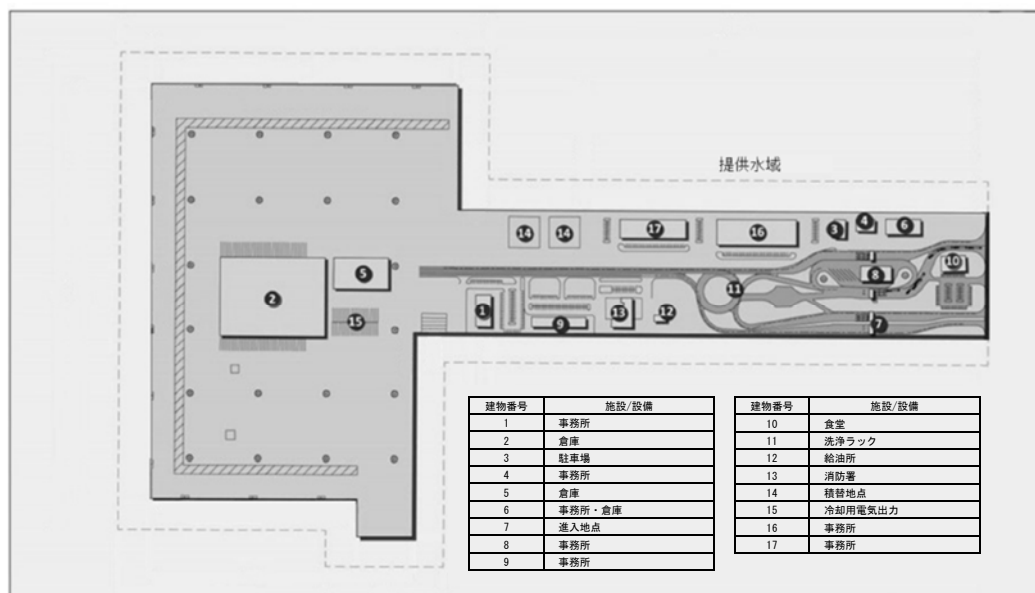
※1：那覇港港湾計画（令和 5 年 3 月改訂、那覇港管理組合）において埋立てにより土地造成を行うことが計画されている用地のうち、約 15ha の用地を埋め立てて使用することを想定しており、関係機関と調整中です。

※2：製作したコンクリートブロック等を仮置きするために、過去の防波堤工事で使用された既存の海中仮置きヤード等の活用を想定しており、関係機関と調整中です。

## 1.事業の概要

### 対象事業に係る施設の概要

代替施設に係る施設配置計画図（案）は、以下の図に示すとおりです。事務所、倉庫、洗浄ラック、給油所、消防署等が計画されていますが、配置や規模等に関しては検討中です。



施設配置計画図（案）

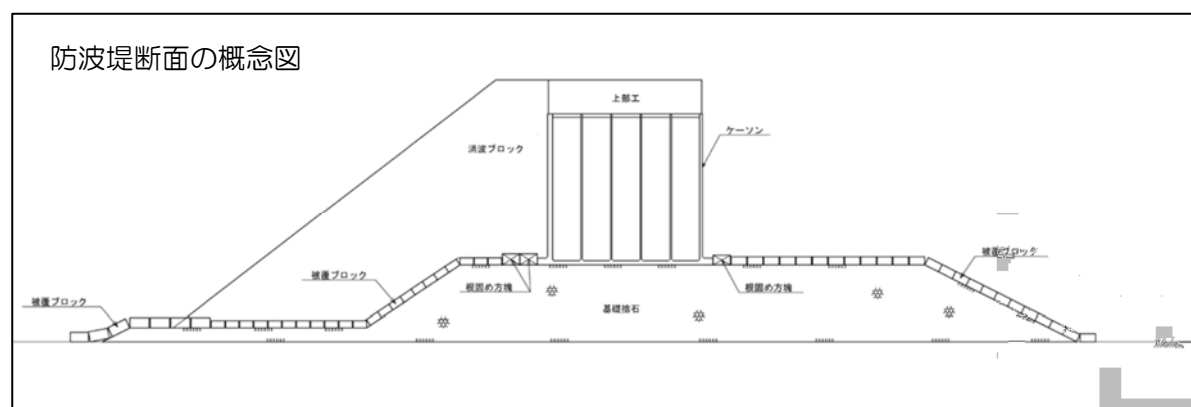
### 工事計画の概要

工事計画に係る具体的な内容については、今後の検討を踏まえて決定することとなりますが、現時点で想定される工事概要を以下に示します。

#### 防波堤

防波堤に関する工事は、必要に応じて床堀を実施した上で、基礎捨石を投入・敷均した後、ケーソンを据え付け、被覆ブロックの設置等により施工します。

防波堤の構造は、今後の検討結果を踏まえ最終的に決定します。



## 1.事業の概要

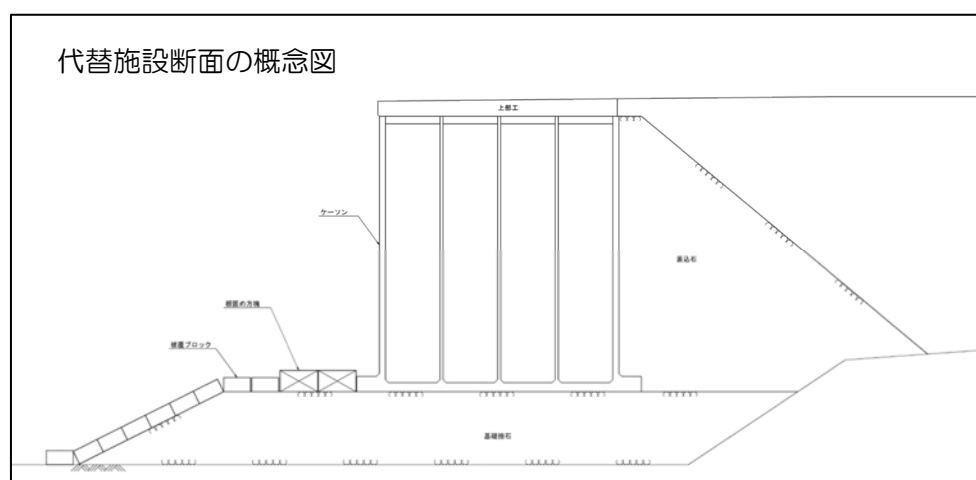
### 代替施設

代替施設については、護岸等を概成後に埋立工事を行います。

護岸は、必要に応じて床堀を実施した上で、基礎捨石を投入・敷均した後、ケーソンを据え付け、被覆ブロックの設置等により施工します。

代替施設の構造は、今後の検討結果を踏まえ最終的に決定します。

なお、埋立資材等は陸上又は海上運搬により搬送します。



### 付帯施設（橋梁）

代替施設と既存陸地を結ぶ付帯施設は、橋梁構造を検討中です。

### 浚渫（泊地）

代替施設の運用に必要な水深を確保するため、泊地部分の浚渫を実施します。

### 作業ヤード（埋立て）

那覇港港湾計画（令和 5 年 3 月改訂、那覇港管理組合）において埋立てにより土地造成を行うことが計画されている用地のうち、約 15ha の用地を埋め立てて使用することを想定しており、関係機関と調整中です。

作業ヤードは護岸等の概成後に埋立工事を行います。

なお、埋立資材は陸上又は海上運搬により搬送します。

### 作業ヤード（海中仮置き）

防波堤や護岸に使用するコンクリートブロック等を仮置きするために、過去の防波堤工事で使用された既存の海中仮置きヤード等の活用を想定しており、関係機関と調整中です。

必要に応じ、基礎捨石の投入、敷均し等を行います。

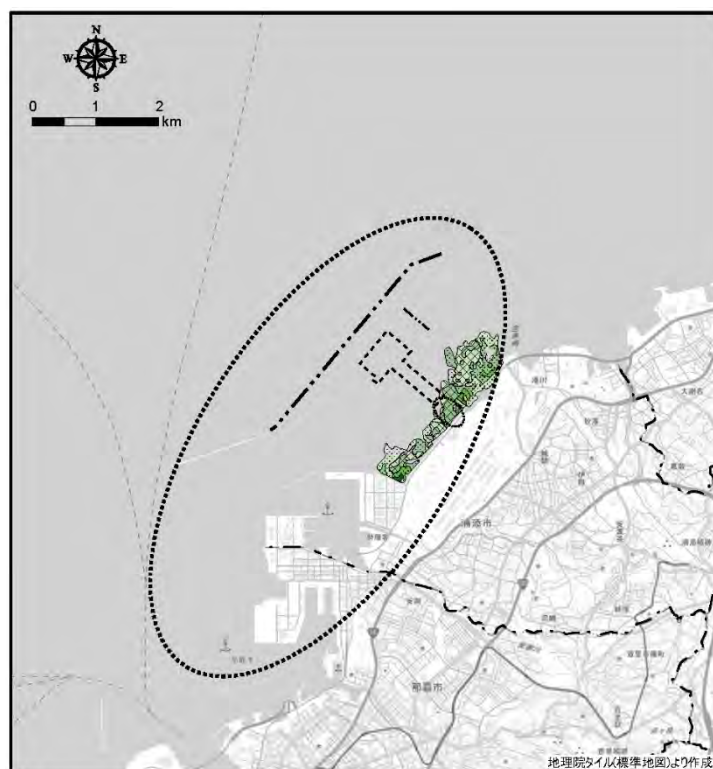
## 2.対象事業実施区域及びその周囲の概況

対象事業実施区域及びその周囲（対象事業に係る環境影響を受ける範囲であると認められる地域として、今回、浦添市、宜野湾市及び那覇市としました。）を対象に、自然的状況、社会的状況の概況について、文献その他の資料等により調査しました。

### 動植物の概況

- 対象事業実施区域及びその周辺には、214種の重要な動物が生息している可能性があります。
- 対象事業実施区域及びその周辺には、86種の重要な植物が生育している可能性があります。
- 対象事業実施区域及びその周辺の浅海域には藻場が分布しており、一部に被度 30～50%、50%以上の範囲が分布しています。また、干潟も対象事業実施区域の一部に分布しています。

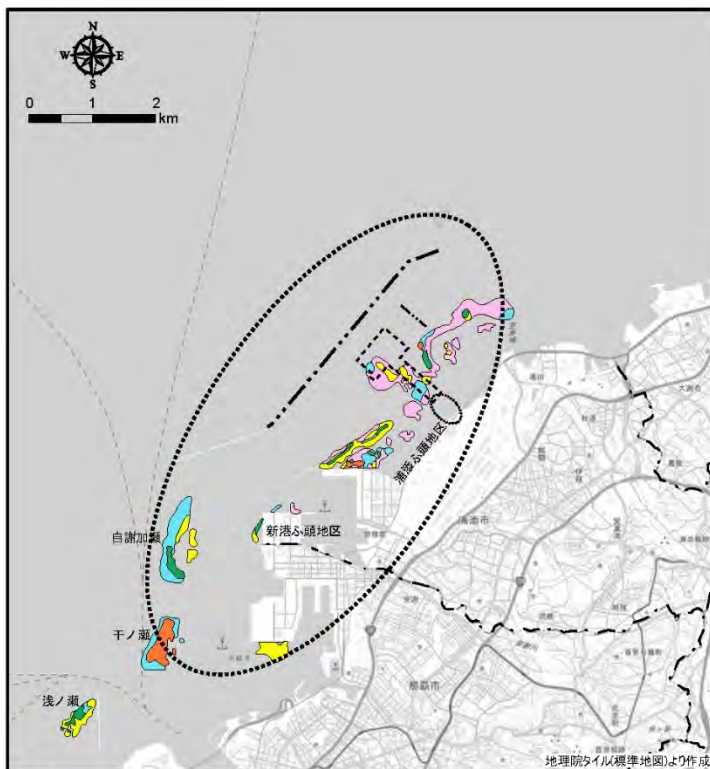
さらに、サンゴ礁については、対象事業実施区域の北東側は被度 5%未満の範囲が分布しており、一部に 30～50%、50%以上の範囲が分布しています。対象事業実施区域の南西側は、礁縁部に 30～50%の範囲が分布しているほか、礁池内に被度 50%以上の範囲が分布しています。



- 凡例**
- 対象事業実施区域
  - ※自然的環境を保全する区域は除く
  - 代替施設
  - 付帯施設(橋梁)
  - 防波堤
  - 市町村界
- 藻場**
- 種類
- ホンダワラ類
  - 海草類
  - 海草類、ホンダワラ類の混生
- 被度
- 被度 10% 未満
  - 被度 10% 以上～30% 未満
  - 被度 30% 以上～50% 未満
  - 被度 50% 以上

藻場分布図

出典：那覇港湾計画資料（その2）（令和5年 那覇港管理組合）



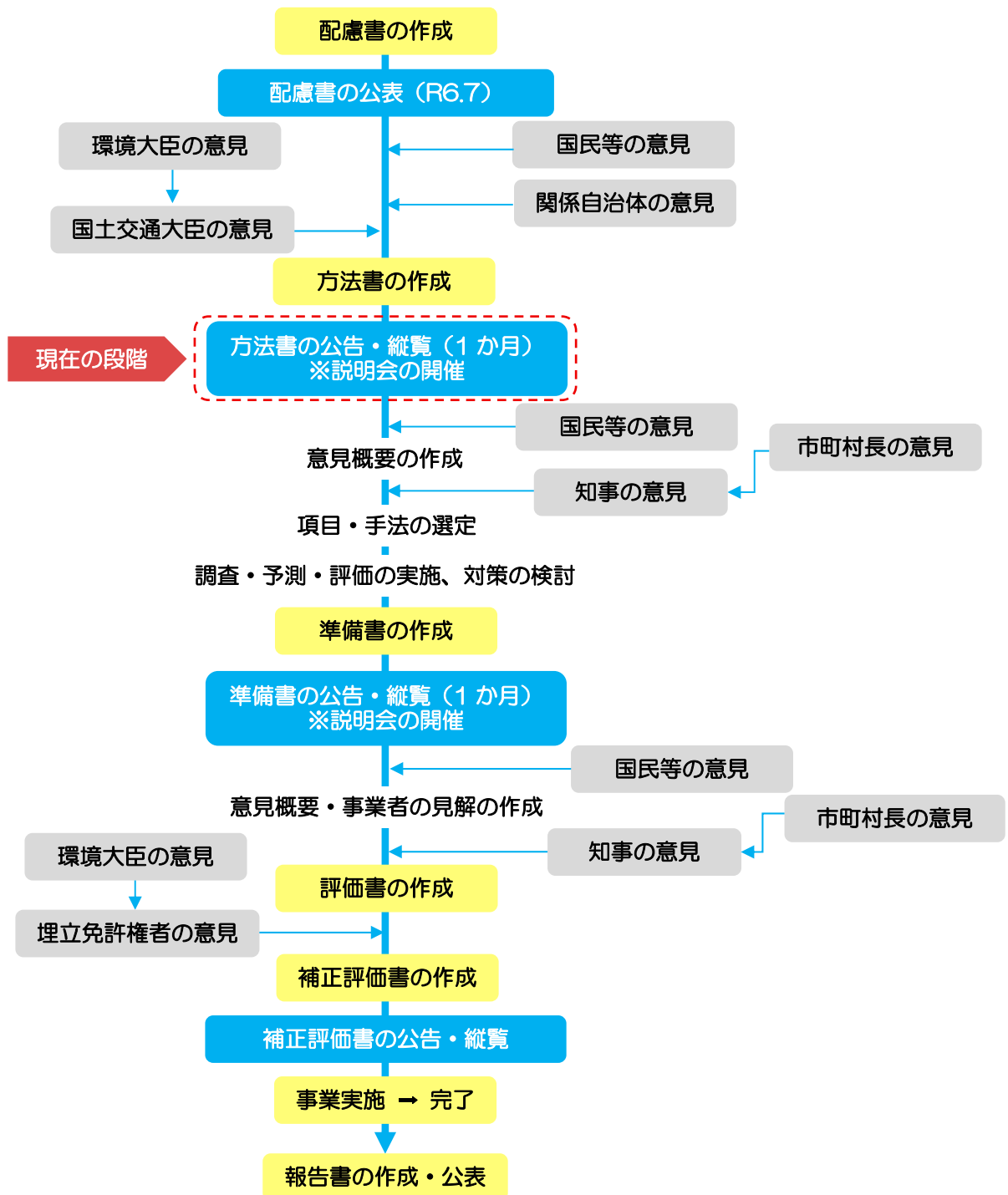
- 凡例**
- 対象事業実施区域
  - ※自然的環境を保全する区域は除く
  - 代替施設
  - 付帯施設(橋梁)
  - 防波堤
  - 市町村界
- サンゴ類**
- 被度
- 1%以上～5%未満
  - 5%以上～10%未満
  - 10%以上～30%未満
  - 30%以上～50%未満
  - 50%以上

サンゴ類分布図

出典：那覇港湾計画資料（その2）（令和5年 那覇港管理組合）

### 3.環境影響評価の手続

#### 本事業の環境影響評価手続の流れ



#### 調査・予測及び評価の実施

**調査** 予測・評価をするために必要な地域の環境情報を収集するための調査を行います。

〈調査の方法〉

- ・既存資料を収集整理する方法
- ・現地で測定や観察をする方法

**予測** 事業を実施した結果、環境がどのように変化するかを予測します。

〈予測の方法〉

- ・各種予測式により計算する方法
- ・モニタージュ写真を作成する方法
- ・既存の知見・事例を引用する方法

**評価** 事業による環境への影響について検討します。

〈評価の内容〉

- ・実行可能な最大限の対策がとられているか
- ・環境保全に関する基準、目標等と整合しているか

## 4.環境影響評価の項目

本事業に係る環境影響評価の項目は、主務省令※の参考項目を基本とし、事業特性及び地域特性を勘案し、下表に示すとおり選定しました。

※公有水面の埋立て又は干拓の事業に係る環境影響評価の項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針、環境の保全のための措置に関する指針等を定める省令（平成 10 年、農林水産省、運輸省、建設省令第 1 号）

| 環境要素の区分<br>影響要因の区分                           |                     |        |                        | 工事の実施 |        |             |       |        | 土地又は工作物の存在   |             |         |        |
|----------------------------------------------|---------------------|--------|------------------------|-------|--------|-------------|-------|--------|--------------|-------------|---------|--------|
|                                              |                     |        |                        | 護岸の工事 | 埋立ての工事 | 付帯施設（橋梁）の工事 | 浚渫の工事 | 防波堤の工事 | 埋立地（干拓施設）の存在 | 付帯施設（橋梁）の存在 | 浚渫区域の存在 | 防波堤の存在 |
| 環境の自然環境的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素 | 大気環境                | 大気質    | 窒素酸化物                  | ●     | ◇      | ◇           | ●     |        |              |             |         |        |
|                                              |                     |        | 粉じん等                   | ◎●    | ◇      | ◇           | ●     |        |              |             |         |        |
|                                              |                     |        | 浮遊粒子状物質                | ●     | ◇      | ◇           | ●     |        |              |             |         |        |
|                                              |                     |        | 硫酸酸化物                  | ●     | ◇      | ◇           | ●     |        |              |             |         |        |
|                                              |                     | 騒音     | 建設作業騒音                 | ◎●    | ◇      | ◇           | ●     |        |              |             |         |        |
|                                              |                     |        | 道路交通騒音                 | ◎●    | ◇      |             | ●     |        |              |             |         |        |
|                                              |                     | 振動     | 建設作業振動                 | ◎●    | ◇      |             |       |        |              |             |         |        |
|                                              |                     |        | 道路交通振動                 | ◎●    | ◇      |             | ●     |        |              |             |         |        |
|                                              | 水環境                 | 水質     | 水の汚れ                   |       |        |             |       |        | ◎●           | ◇           | ◇       | ●      |
|                                              |                     |        | 土砂による水の濁り（赤土等も含む）      | ◎●    | ◇      | ◇           | ●     |        |              |             |         |        |
|                                              |                     | 水底の底質  |                        | ●     | ◇      | ◇           | ●     | ●      | ◇            | ◇           | ●       |        |
|                                              |                     | 水象     |                        |       |        |             |       | ●      | ◇            | ◇           | ●       |        |
|                                              | 土壌に係る環境             | 地形及び地質 | 重要な地形及び地質              |       |        |             |       |        | ◎●           | ◇           | ◇       | ●      |
|                                              |                     |        |                        |       |        |             |       |        |              |             |         |        |
| 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素 | 動物                  | 陸域動物   | 重要な種及び注目すべき生息地         | ◎●    | ◇      | ◇           | ●     | ◎●     | ◇            |             |         | ●      |
|                                              |                     | 海域動物   | 重要な種及び注目すべき生息地         | ◎●    | ◇      | ◇           | ●     | ◎●     | ◇            | ◇           |         | ●      |
|                                              | 植物                  | 陸域植物   | 重要な種及び群落               | ◎●    | ◇      |             |       | ◎●     | ◇            |             |         |        |
|                                              |                     | 海域植物   | 重要な種及び群落               | ◎●    | ◇      | ◇           | ●     | ◎●     | ◇            | ◇           |         | ●      |
|                                              | 生態系                 | 陸域生態系  | 地域を特徴づける生態系            | ◎●    | ◇      | ◇           | ●     | ◎●     | ◇            |             |         | ●      |
|                                              |                     | 海域生態系  | 地域を特徴づける生態系            | ◎●    | ◇      | ◇           | ●     | ◎●     | ◇            | ◇           |         | ●      |
| 人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素      | 景観                  |        | 主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観 |       |        |             |       |        | ◎●           | ◇           |         | ●      |
|                                              | 人と自然との触れ合いの活動の場     |        | 主要な人と自然との触れ合いの活動の場     | ◎●    | ◇      | ◇           | ●     | ◎●     | ◇            | ◇           |         | ●      |
|                                              | 歴史的・文化的環境           |        |                        | ●     | ◇      |             |       |        | ●            | ◇           |         |        |
| 環境への負荷の量の程度により調査、予測及び評価されるべき環境要素             | 廃棄物等                |        | 建設工事に伴う副産物             | ◎●    | ●      | ◇           | ◇     | ●      |              |             |         |        |
|                                              | 温室効果ガス等             |        |                        | ●     | ◇      | ◇           | ●     |        |              |             |         |        |
| 一般環境中の放射性物質について調査、予測及び評価されるべき環境要素            | 放射線の量 <sup>注3</sup> |        |                        |       |        |             |       |        |              |             |         |        |

注 1：◎は主務省令※の参考項目を、●は沖縄県環境影響評価技術指針（平成 13 年、沖縄県告示第 678 号）を参考とし、評価項目として選定したことを示します。

注 2：◇は主務省令による参考項目及び沖縄県環境影響評価技術指針に示されるものではありませんが、本事業に伴う環境要因から影響を受けるおそれのあるものとし、評価項目として選定したことを示します。

注 3：放射線の量については、主務省令の参考項目として掲げられていますが、本事業において放射性物質が相当程度拡散・流出するおそれがないことから選定しませんでした。

## 5.調査、予測及び評価の手法

本事業に係る環境影響評価の項目ごとの調査及び予測の手法については、本事業の事業特性及び地域特性を踏まえ、主務省令の参考手法を勘案して選定し、評価の手法については、主務省令の事項に留意して選定しました。なお、選定に際しては、技術指針<sup>注</sup>の参考手法や「那覇港（浦添・頭地区）港湾整備に伴う海域環境保全マニュアル（平成 18 年、那覇港管理組合）」についても勘案しました。選定した調査、予測及び評価の手法は、以下に示すとおりです。

### 調査・予測の手法の概要

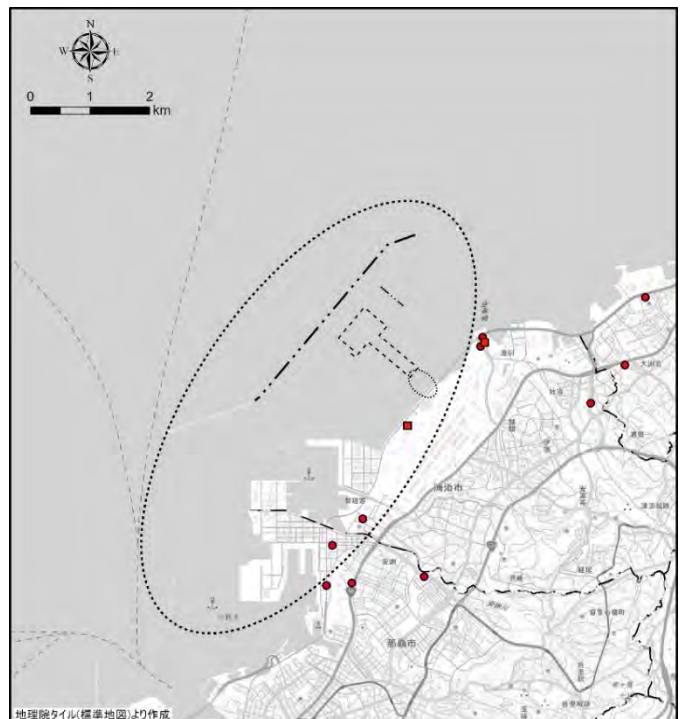
#### 大気環境（大気質、騒音、振動）

| 環境要素 | 主な調査項目                         | 調査手法              | 主な予測手法           |
|------|--------------------------------|-------------------|------------------|
| 大気質  | 窒素酸化物                          | ・文献等資料調査<br>・現地調査 | ・ブルーム式及びパフ式により予測 |
|      | 粉じん等                           |                   |                  |
|      | 浮遊粒子状物質                        |                   | ・経験式により予測        |
|      | 硫酸酸化物                          |                   |                  |
| 騒音   | ・騒音の状況<br>・地表面の状況<br>・道路の沿道の状況 | ・文献等資料調査<br>・現地調査 | ・音の伝搬理論式により予測    |
| 振動   | ・振動の状況<br>・地盤の状況               |                   | ・振動の伝搬理論式により予測   |



- 凡例
- 対象事業実施区域
  - ※自然環境を保全する区域は除く
  - 代替施設
  - 付帯施設(橋梁)
  - 防波堤
  - 市町村界
  - 気象状況、大気質、粉じん等(一般環境)調査地点
  - 気象状況、大気質(道路沿道)調査地点

大気質の調査地点



- 凡例
- 対象事業実施区域
  - ※自然環境を保全する区域は除く
  - 代替施設
  - 付帯施設(橋梁)
  - 防波堤
  - 市町村界
  - 道路交通騒音・振動、交通量調査地点
  - 環境騒音・振動調査地点

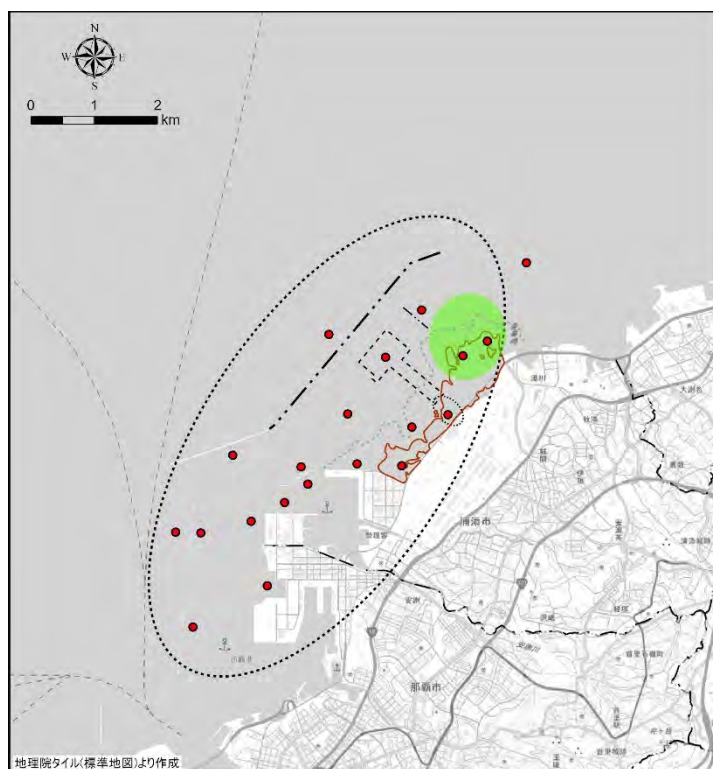
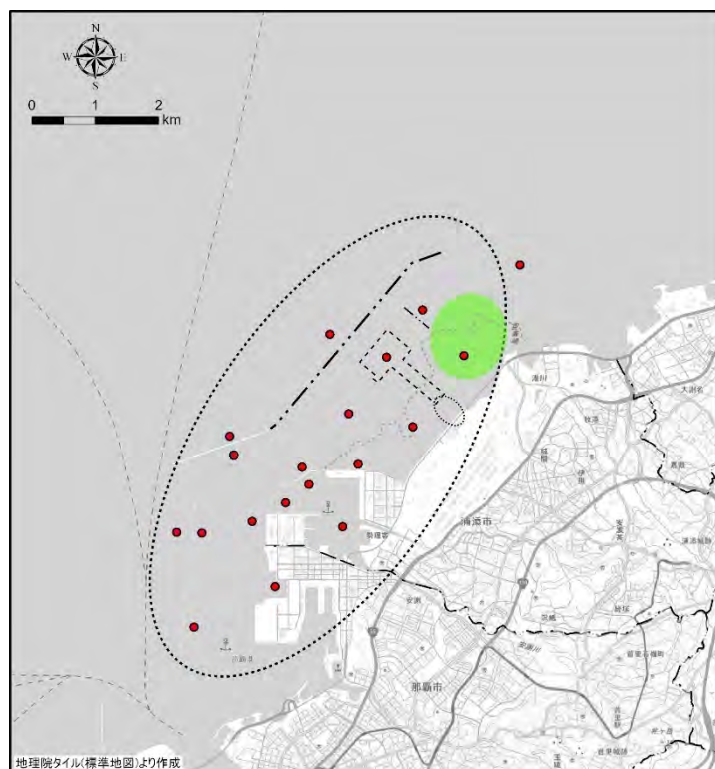
騒音・振動の調査地点

注：沖縄県環境影響評価条例（平成 12 年、沖縄県条例第 77 号）第 4 条 1 項の規定に基づき、環境影響評価等が適切に行われるために必要な技術的事項を定めた「沖縄県環境影響評価技術指針（平成 13 年、沖縄県告示第 678 号）」

## 5.調査、予測及び評価の手法

### 水質、水底の底質、水象、地形及び地質

| 環境要素   |                   | 主な調査項目                               | 調査手法                | 主な予測手法                                 |
|--------|-------------------|--------------------------------------|---------------------|----------------------------------------|
| 水質     | 水の汚れ              | ・ 海域の化学的酸素要求量の状況                     | ・ 文献等資料調査<br>・ 現地調査 | ・ 数値シミュレーションにより流動予測を行い、化学的酸素要求量等の拡散を予測 |
|        | 土砂による水の濁り（赤土等も含む） | ・ 海域の濁りの状況（浮遊物質質量（SS）等）              |                     | ・ 数値シミュレーションにより流動予測を行い、海域の濁りの拡散を予測     |
| 水底の底質  |                   | ・ 有害物質に係る底質の状況<br>・ 底質中の懸濁物質質量等の状況   | ・ 文献等資料調査<br>・ 現地調査 | ・ 「土砂による水の濁り」等の予測結果を基に、底質の変化を定性的に予測    |
| 水象     | ・ 潮流<br>・ 波浪      | ・ 沿岸の湧水位置                            | ・ 文献等資料調査<br>・ 現地調査 | ・ 数値シミュレーションにより予測                      |
|        |                   |                                      |                     | ・ 湧水の位置と事業計画との重ね合わせにより予測               |
| 地形及び地質 |                   | ・ 地形及び地質の概況<br>・ 重要な地形及び地質の分布、状態及び特性 | ・ 文献等資料調査<br>・ 現地調査 | ・ 事例等を用いて定量又は定性的に予測                    |



#### 凡例

- 対象事業実施区域
- ※自然環境を保全する区域は除く
- 代替施設
- 付帯施設(橋梁)
- 防波堤
- 市町村界
- リーフエッジ
- 水質調査地点(海域)
- 自然環境を保全する区域

#### 海域の水質（水の汚れ）の調査地点

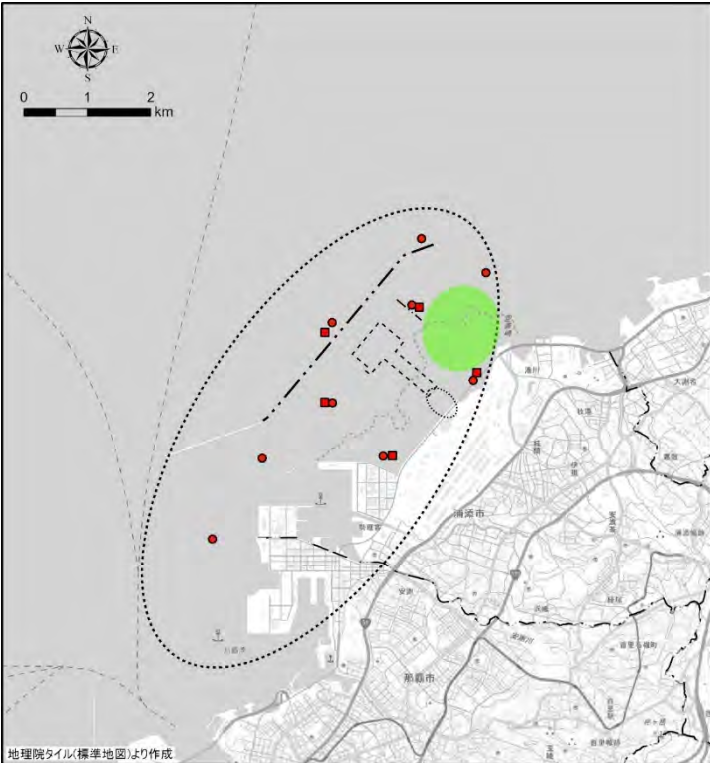
#### 凡例

- 対象事業実施区域
- ※自然環境を保全する区域は除く
- 代替施設
- 付帯施設(橋梁)
- 防波堤
- 市町村界
- リーフエッジ
- 底質調査地点
- 自然環境を保全する区域
- 海藻(藻場)

#### 底質調査の調査地点

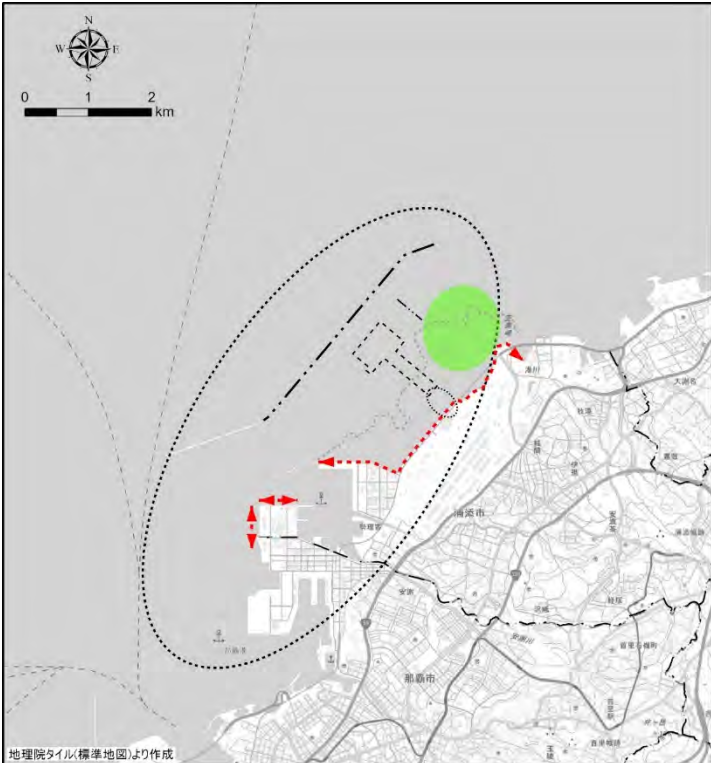
出典：那覇港港湾計画資料（その2）（令和5年 那覇港管理組合）

# 5.調査、予測及び評価の手法



- 凡例
- 対象事業実施区域
  - ※自然の環境を保全する区域は除く
  - 代替施設
  - 付帯施設(橋梁)
  - 防波堤
  - 市町村界
  - リーフエッジ
  - 潮流調査地点
  - 波高調査地点
  - 自然の環境を保全する区域

潮流及び波浪の調査地点



- 凡例
- 対象事業実施区域
  - ※自然の環境を保全する区域は除く
  - 代替施設
  - 付帯施設(橋梁)
  - 防波堤
  - 市町村界
  - リーフエッジ
  - 地形及び地質調査ルート
  - 自然の環境を保全する区域

地形及び地質の調査地域

## 5.調査、予測及び評価の手法

### 動物、植物、生態系

| 環境要素 |       | 主な調査項目                                                                                                           | 調査手法                                                                   | 主な予測手法                                                                                                                 |
|------|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 動物   | 陸域動物  | <ul style="list-style-type: none"><li>・主な陸生動物に係る動物相の状況</li><li>・動物の重要な種の分布、生息の状況</li><li>・注目すべき生息地の分布</li></ul>  | <ul style="list-style-type: none"><li>・文献等資料調査</li><li>・現地調査</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・事業計画と動物の生息状況の重ね合わせにより、可能な限り定量的に予測</li><li>・生息環境の変化及びそれに伴う動物への影響について予測</li></ul> |
|      | 海域動物  | <ul style="list-style-type: none"><li>・主な海域動物に係る動物相の状況</li><li>・動物の重要な種の分布、生息の状況</li><li>・注目すべき生息地の分布</li></ul>  |                                                                        |                                                                                                                        |
| 植物   | 陸域植物  | <ul style="list-style-type: none"><li>・植物相の状況</li><li>・植生の状況</li><li>・重要な植物種及び植物群落の分布</li></ul>                  |                                                                        | <ul style="list-style-type: none"><li>・事業計画と植物の生育状況の重ね合わせにより、可能な限り定量的に予測</li><li>・生育環境の変化及びそれに伴う植物への影響について予測</li></ul> |
|      | 海域植物  | <ul style="list-style-type: none"><li>・植物相の状況</li><li>・重要な植物種の分布、生育の状況</li></ul>                                 |                                                                        |                                                                                                                        |
| 生態系  | 陸域生態系 | <ul style="list-style-type: none"><li>・動植物その他の自然環境に係る概況</li><li>・複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境もしくは生育環境の状況</li></ul> |                                                                        | <ul style="list-style-type: none"><li>・類似例の引用又は解析、予測地域の分布等調査結果の引用又は解析、生物的特性等の知見の引用又は解析等により定性的に予測</li></ul>             |
|      | 海域生態系 |                                                                                                                  |                                                                        |                                                                                                                        |

### 動物・植物・生態系の調査について

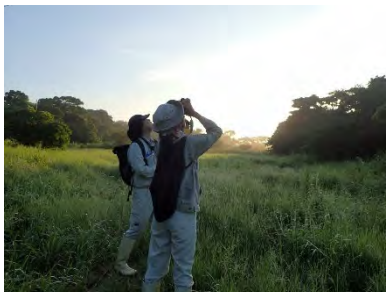
#### ●動物・植物・生態系の調査（現地調査）

##### ①調査の基本的な手法

現地調査により情報を収集し、当該情報を整理、解析します。



植物調査のイメージ  
※出現種を目視により観察し、種名等を記載します。



鳥類調査のイメージ  
※出現種、個体数、飛翔ルート等を目視により観察します。

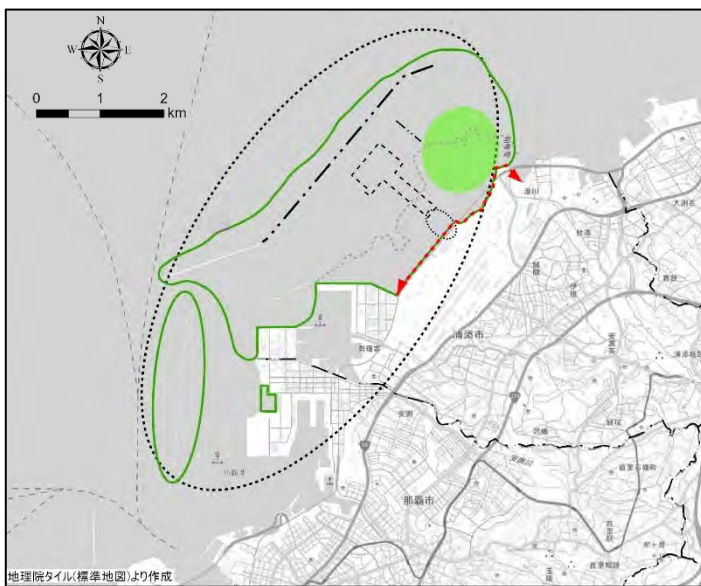
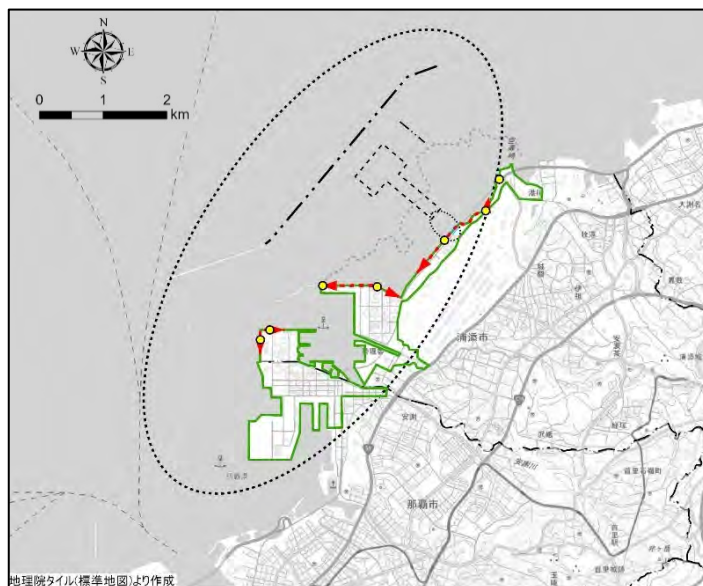


潜水調査のイメージ  
※サンゴ類、海藻草類等の海域の生物は、潜水目視観察により調査を行います。

##### ②調査地点

次ページに代表的な調査地点を示します。

## 5.調査、予測及び評価の手法



### 凡例

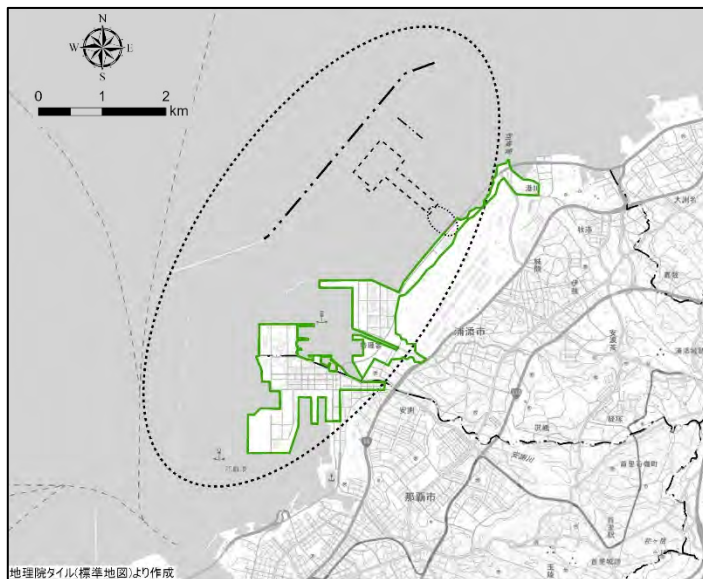
- 対象事業実施区域
- ※自然の環境を保全する区域は除く
- 代替施設
- 付帯施設(橋梁)
- 防波堤
- 市町村界
- リーフエッジ
- 鳥類調査地域
- 鳥類(ラインセンサス)調査ルート
- 鳥類(定点観察法)調査地点

陸生動物（鳥類）の調査地域

### 凡例

- 対象事業実施区域
- ※自然の環境を保全する区域は除く
- 代替施設
- 付帯施設(橋梁)
- 防波堤
- 市町村界
- リーフエッジ
- サンゴ類調査地域
- ウミガメ類調査ルート
- 自然の環境を保全する区域

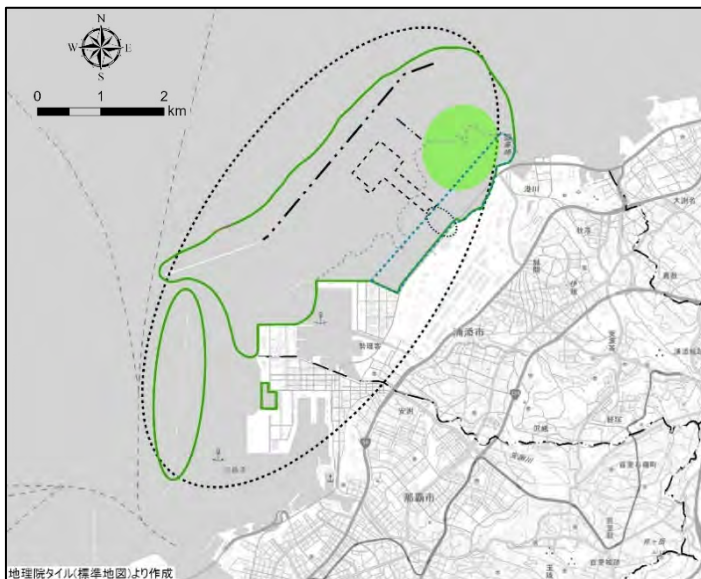
サンゴ類、ウミガメ類の調査地域



### 凡例

- 対象事業実施区域
- ※自然の環境を保全する区域は除く
- 代替施設
- 付帯施設(橋梁)
- 防波堤
- 市町村界
- リーフエッジ
- 陸域植物調査地域

陸域植物の調査地域



### 凡例

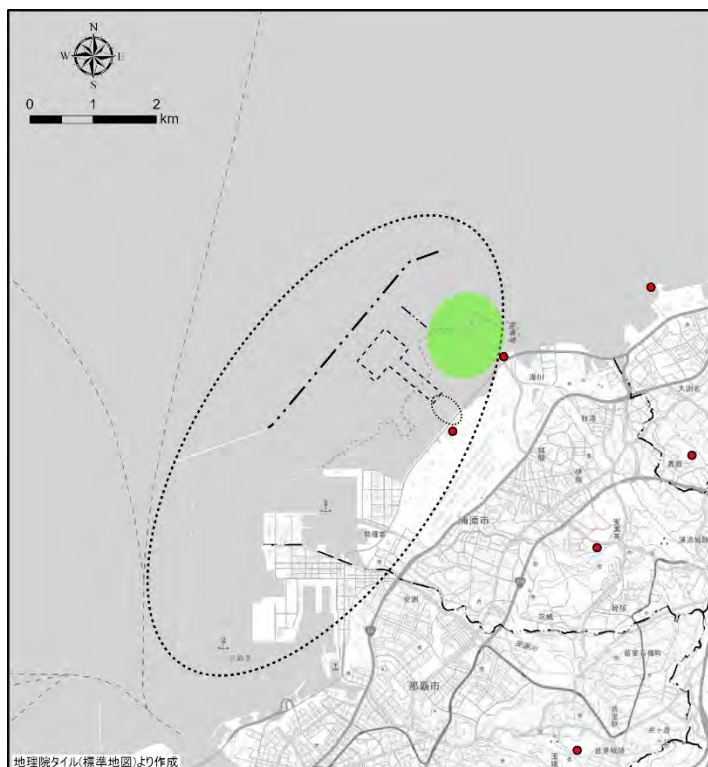
- 対象事業実施区域
- ※自然の環境を保全する区域は除く
- 代替施設
- 付帯施設(橋梁)
- 防波堤
- 市町村界
- リーフエッジ
- 海藻草類調査地域
- カサノリ類調査地域
- 自然の環境を保全する区域

海藻草類、カサノリ類の調査地域

## 5.調査、予測及び評価の手法

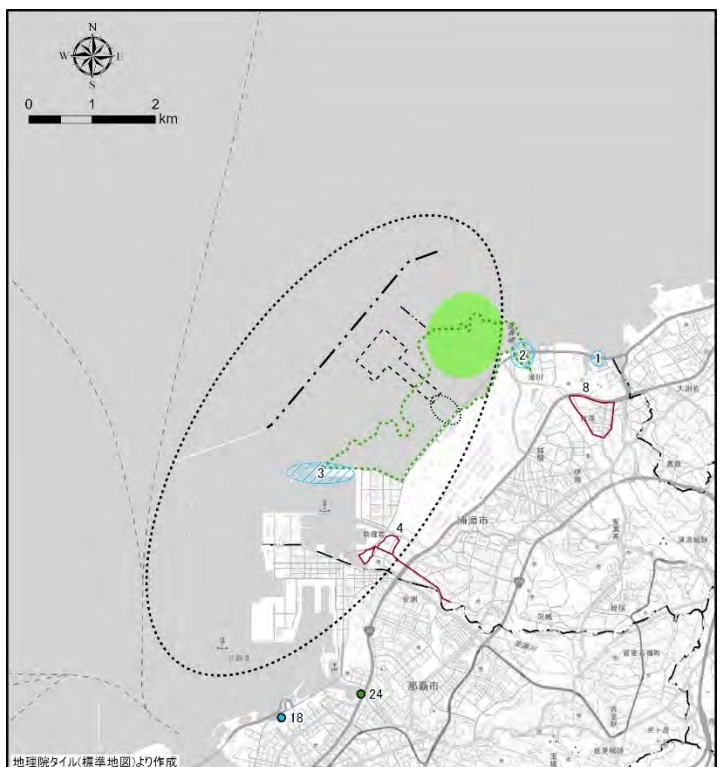
### 景観、人と自然との触れ合いの活動の場

| 環境要素            | 主な調査項目                                                                                              | 調査手法                                                                      | 主な予測手法                                                                                                  |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 景観              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要な眺望点の状況</li> <li>・景観資源の状況</li> <li>・主要な眺望景観の状況</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文献等資料調査</li> <li>・現地調査</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要な眺望景観に与える影響について、フォトモンタージュ法等の視覚的な表現方法により予測</li> </ul>          |
| 人と自然との触れ合いの活動の場 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人と自然との触れ合いの活動の場の概況</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文献等資料調査</li> <li>・現地調査</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象事業実施区域と主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布を重ね合わせ、影響の有無及び程度について予測</li> </ul> |



- 凡例**
- 対象事業実施区域
  - ※自然環境を保全する区域は除く
  - 代替施設
  - 付帯施設(橋梁)
  - 防波堤
  - 市町村界
  - リーフエッジ
  - 主要な眺望点
  - 自然環境を保全する区域

景観の調査地域



- 凡例**
- 対象事業実施区域
  - ※自然環境を保全する区域は除く
  - 代替施設
  - 付帯施設(橋梁)
  - 防波堤
  - 市町村界
  - リーフエッジ
  - 人と自然との触れ合いの活動の場
  - 自然環境を保全する区域
  - 釣り・浜遊び
  - 散歩
  - 浜遊び
  - 散歩・自然観察

| 番号 | 名称              |
|----|-----------------|
| 1  | 牧港漁港            |
| 2  | 牧港海岸、空寿崎、カーミー   |
| 3  | 西洲              |
| 4  | シーサー通りを通るコース    |
| 8  | 58号線と鳳凰木の並木道コース |
| 18 | 波の上ビーチ          |
| 24 | 泊港              |

人と自然との触れ合いの活動の場の調査地域

## 5.調査、予測及び評価の手法

### 歴史的・文化的環境、廃棄物、温室効果ガス

| 環境要素      |            | 主な調査項目                                                                                                            | 調査手法                                                      | 主な予測手法                                                                                                                        |
|-----------|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 歴史的・文化的環境 |            | <ul style="list-style-type: none"> <li>文化財等の状況</li> <li>埋蔵文化財包蔵地の状況</li> <li>御嶽や拝所等の風土・伝統的行事及び祭礼等の場の概要</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>文献等資料調査</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>対象事業実施区域と文化財等、埋蔵文化財包蔵地、御嶽や拝所等の風土・伝統的行事及び祭礼等の場の分布を重ね合わせ、現状変更、損傷、改変等の程度について予測</li> </ul> |
| 廃棄物等      | 建設工事に伴う副産物 | <ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物及び建設発生土の処理並びに処分等の状況</li> </ul>                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>文献等資料調査</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>建設工事に伴う建設副産物の種類ごとの発生及び処分の状況の把握</li> </ul>                                              |
| 温室効果ガス等   |            | <ul style="list-style-type: none"> <li>温室効果ガスの排出量</li> </ul>                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>文献等資料調査</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>建設工事に伴う温室効果ガスの排出量を算出</li> </ul>                                                        |

### 評価の手法の概要

#### 回避又は低減に係る評価

調査及び予測の結果並びに環境保全措置の検討を行った場合においてはその結果を踏まえ、当該環境要素に及ぶおそれがある影響が、事業者により実行可能な範囲内でできる限り回避され、又は低減されており、必要に応じその他の方法により環境の保全についての配慮が適正になされているかどうかについて評価します。

#### 基準又は目標との整合性

国又は関連する地方公共団体が実施する環境保全に関する施策において、選定項目に係る環境要素に関して基準又は目標が示されている場合には、これらの環境保全の目標と予測結果を比較することにより、当該基準又は目標との整合性が図られているかについて評価します。

## 6.意見書の提出方法

方法書について、環境の保全の見地からご意見を有する方は、ご意見を書面により提出することができます。

ご意見は以下の方法で提出いただけます。

### 提出方法（電子メール又は郵送）

#### ■ 電子メールでの提出

《 電子メール提出の3ステップ 》

1. 沖縄防衛局のウェブサイトアクセス
2. 「ご意見メールを送る」ボタンをクリック  
⇒ 宛先、件名、様式が自動入力されたメールの下書きが開きます。
3. 必要事項を記入し、メールを送信  
※メールソフトが自動で起動しない場合は、ウェブサイトに掲載されたメールアドレス宛に、所定様式に従って手動で送信してください。

#### ■ 郵送での提出

〒904-0295

沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納 290 番地 9

防衛省沖縄防衛局 調達部 調達計画課 宛

### 提出期限

令和7年10月1日（水）まで（郵送の場合、当日消印有効）

### 意見書の提出に必要な事項（必須）

意見書には、以下の内容をご記入ください。

1. 意見を提出する者の氏名及び住所  
（法人その他の団体にあつては、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地）
2. 意見書の提出の対象である方法書の名称（「那覇港湾施設代替施設建設事業に係る環境影響評価方法書」と記載してください。）
3. 方法書についての環境の保全の見地からの意見  
（ご意見は日本語により、ご意見の理由を含めて記載してください。）

### 個人情報の取扱いについて

ご記入いただいた氏名・住所などの個人情報は、環境影響評価手続における意見内容の確認・整理にのみ使用します。また、いただいたご意見は、必要に応じて内容の要旨を公表する場合がありますが、個人が特定される情報（氏名・住所等）は公表いたしません。

### 詳細・様式ダウンロード

最新情報や記入様式は裏表紙に示す沖縄防衛局のウェブサイトでご確認いただけます。





## 沖縄防衛局ウェブサイト

<https://www.mod.go.jp/rdb/okinawa/effort/base/nahaport/index.html>



◀ QRコードを読み込むことで、スマートフォンからもご確認いただけます。

## お問い合わせ先

沖縄防衛局

調達部 調達計画課

〒904-0295

沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納 290 番地 9

TEL:098-921-8131